

研究課題名	多発性骨髄腫患者におけるレナリドミドによる皮膚障害のリスク因子の検討
研究責任者(職名) :	薬剤科 杉 富行
実施責任者(職名) :	同上
研究期間 :	2017年6月（倫理委員会承 ~ 2019年3月
研究目的と意義 :	<p>薬剤科では、多発性骨髄腫治療薬であるレナリドミド（商品名レブラミド）を受ける患者さんに見られる副作用の一つである皮膚障害について検討するため、下記の研究を行っております。その研究目的、研究方法は当院の倫理委員会に十分に審査され、承認されたものです。</p> <p>患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行いますが、個人名、住所などは全て完全に匿名化され、個人を特定することは不可能になっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。今後レブラミドの治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われている研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容 :	<p>●対象となる患者さま</p> <p>永寿総合病院血液内科にて多発性骨髄腫に対しレナリドミドの治療を受けた方 約100例</p> <p>●利用する情報</p> <p>上記調査対象の方の診療録から、治療歴、血液検査データ、薬剤投与状況、副作用所見などを中心に調査を行います。</p>
問い合わせ先 :	<p>【研究担当者】</p> <p>杉 富行（薬剤師） 薬剤科</p>